

【西区】令和6年第1回区づくり推進横浜市議員会議

令和6年2月5日(月) 15時30分開始
西区役所3B会議室

次 第

1 開 会

2 座長の選出

3 議 題

(1) 令和6年度 西区編成予算(案)

(2) 令和6年度 西区編成予算(案) 主要事業

ア 「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」(西区地域福祉保健計画)の推進

イ 区制80周年記念事業

ウ 高齢者あんしん生活サポート事業

エ 障害のある人も住みやすいまちづくり事業

オ 子育て支援の推進

カ 地域連携推進・回遊性向上事業

キ 商店街及び「まち」のにぎわい創出事業

ク スポーツ振興事業

ケ 西区「Zero Carbon」推進事業

コ 地域防災活動推進事業

(3) 区制80周年記念事業の取組

(4) デジタル区役所の取組

【参考】西区における開発動向等

4 会議報告書の作成

5 閉 会

3-(1) 令和6年度 西区編成予算（案）

【基本的な考え方】

～ つながりを大切に 誰もがにこやかしあわせにくらせるまち 西区へ ～

令和6年の区制80周年が様々なつながりにより地域への愛着を深める大切な節目になり、子どもたちの思い出に残る年になるよう、区民・企業・団体・区役所が一体となって、地域のつながりの強化と、まちのにぎわいの創出に向けた取組を展開します。また、これまでのデジタル区役所モデル区としての成果を生かし、今後もデジタル化の取組を進めていきます。脱炭素社会の推進のため、GREEN×EXPO 2027開催に向けた機運醸成やSDGsに関する事業にも積極的に取り組みます。

これらに加えて、横浜市の基本戦略に掲げた「子育てしたいまち、次世代を共に育むまち」及び西区の基本目標「つながりを大切に 誰もがにこやかしあわせにくらせるまち」の実現に向け、「市民目線」「スピード感」「全体最適」の視点を持ちながら、子育て支援をはじめ、あらゆる世代の皆さまへのサービス向上に向けて各事業に取り組んでいきます。実施にあたっては、区民の立場から事業を検証し、区民が各事業の効果を最大限実感できるよう、取り組んでいきます。

- 地域のつながりづくり
- いきいきと健やかに暮らせるまちづくり
- まちの回遊性向上とにぎわいづくり
- 安全・安心なまちづくり
- 親しみやすい区役所づくり

1 区分別総括表

(単位:千円)

	6年度予算額	5年度予算額	差 引
自主企画事業費	100,653	99,012	1,641
統合事務事業費	34,199	35,356	▲ 1,157
統合事務費	18,239	19,440	▲ 1,201
統合事業費	15,960	15,916	44
区庁舎・区民利用施設管理費	472,778	466,655	6,123
合計	607,630	601,023	6,607

2 内 訳

(1) 自主企画事業費

(単位:千円)

区 分	6年度予算額	主な事業
地域のつながりづくり	19,871	・「にこやかしあわせくらしのまちプラン」(西区地域福祉保健計画)の推進 ・区制80周年記念事業
いきいきと健やかに暮らせるまちづくり	21,937	・西区で子育て学び隊事業 ・高齢者あんしん生活サポート事業 ・障害のある人も住みやすいまちづくり推進事業
まちの回遊性向上とにぎわいづくり	30,680	・地域連携推進・回遊性向上事業 ・商店街及び「まち」のにぎわい創出事業 ・スポーツ振興事業
安全・安心なまちづくり	20,371	・地域防災活動推進事業 ・西区「Zero Carbon」推進事業
親しみやすい区役所づくり	7,794	・サービス改善推進事業 ・区庁舎・区民利用施設環境整備事業
合 計	100,653	〈30事業〉

(2) 統合事務事業費

(単位:千円)

区 分	6年度予算額	概 要
統合事務費	18,239	各課で事務・運営を行っていくために必要な事務費を適正に執行します。
広報よこはま西区版発行事業 ・区民相談事業	10,429	「広報よこはま西区版」の発行を通じて、区民に区の事業及び地域の情報を提供します。また、区民からの要望・提案等広聴の総合的な窓口となり、区民に身近な区の運営に生かします。さらに、区民が生活する上で生じる様々な相談に応じます。
クリーンタウン横浜事業	600	横浜市一般廃棄物処理基本計画に基づく、ごみの資源化・減量化啓発事業の実施や地域清掃の支援により、地域におけるごみの減量・3R意識の向上と地域美化の進展を目指します。
緊急時情報システム運用事業	502	発災時に地域住民等に対し電話で緊急情報を伝達する手段である緊急時情報システムを運用します。
スポーツ推進委員事業	1,365	スポーツ推進委員による地域スポーツ活動の推進により、区民の健康増進、体育振興を図ります。
青少年指導員事業	2,169	青少年の健全育成を目的とする青少年指導員協議会の活動の支援を行います。
学校・家庭・地域連携事業	720	中学校区等で組織されている学校・家庭・地域連携事業推進協議会への活動費助成を行います。
健康づくり月間事業	175	関係団体による区民に対する情報発信・啓発活動等により、保健・衛生に関する知識の普及、地域に根差した自発的な活動の推進及び区民の健康増進を図ります。
合 計	34,199	

(3) 区庁舎・区民利用施設管理費

(単位:千円)

区 分	6年度予算額	主な施設等
区庁舎管理費	96,749	
区庁舎	58,794	西区役所
行政サービスコーナー	7,229	横浜駅行政サービスコーナー
区版市民活動支援センター	20,572	にしく市民活動支援センター
土木事務所	8,423	西土木事務所
区庁舎修繕費	1,731	
区民利用施設管理費	376,029	
公会堂	37,278	西公会堂
地区センター	84,268	西、藤棚地区センター
集会所	11,119	平沼集会所
ログハウス	9,081	境之谷公園こどもログハウス
老人福祉センター	56,902	野毛山荘
コミュニティハウス(条例型)	37,969	浅間、戸部コミュニティハウス
コミュニティハウス(学校施設活用型)	38,537	西前小、稲荷台小、東小、軽井沢コミュニティハウス
スポーツセンター	99,837	西スポーツセンター
広場・遊び場	238	西平沼こどもの遊び場等
区民利用施設修繕費	800	
合 計	472,778	

令和6年度 個性ある区づくり推進費(自主企画事業)施策体系別一覧

※新規・拡充について

新規：前年度事業がない新規の事業、あるいは細事業に新規事業がある事業

拡充：事業費の増減にかかわらず、事業対象範囲等を拡大した事業

1 地域のつながりづくり

(単位：千円)

番号	新規 拡充	事業名	R6年度 事業費	R5年度 事業費	事業費 増▲減
1		地域活動事業	3,314	3,480	▲166
	終了	区民利用施設を活用したICTツール利用促進事業	0	1,166	▲1,166
2		西区「学び・つながり」支援事業	1,634	1,830	▲196
3		西区ふれあい福祉推進事業	2,954	3,059	▲105
4	拡充	「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」 (西区地域福祉保健計画)の推進	2,469	2,332	137
5	拡充	区制80周年記念事業	9,500	2,000	7,500
小 計			19,871	13,867	6,004

2 いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

(単位：千円)

番号	新規 拡充	事業名	R6年度 事業費	R5年度 事業費	事業費 増▲減
1		読書活動推進事業	1,689	1,794	▲105
2		地域の力を生かしたスクールサポート事業	1,494	1,574	▲80
3		区役所キッズスペース運営事業	5,159	5,014	145
4		地域子育てサロン運営支援事業	338	313	25
5	拡充	西区で子育て学び隊事業	3,987	3,433	554
6	拡充	西区の保育施設つながり事業	570	649	▲79
7		女性と子どものための相談支援強化事業	148	517	▲369
8	拡充	健康づくり応援事業	1,739	1,909	▲170
9	拡充	高齢者あんしん生活サポート事業	2,864	3,095	▲231
10		障害のある人も住みやすいまちづくり事業	3,949	4,060	▲111
小 計			21,937	22,358	▲421

3 まちの回遊性向上とにぎわいづくり

(単位：千円)

番号	新規 拡充	事業名	R6年度 事業費	R5年度 事業費	事業費 増▲減
1	拡充	広報充実事業	3,580	3,161	419
2		地域連携推進・回遊性向上事業	5,337	6,393	▲1,056
3		商店街及び「まち」のにぎわい創出事業	2,910	3,029	▲119
4		西区の緑化と地域のつながり形成推進事業	2,217	2,383	▲166
5		西区民まつり事業	6,007	6,007	0
6	拡充	ふるさと西区魅力発信事業	5,290	4,790	500
7	拡充	地域文化振興事業	700	500	200
8	新規	スポーツ振興事業	4,639	3,244	1,395
小 計			30,680	29,507	1,173

4 安全・安心なまちづくり

(単位:千円)

番号	新規 拡充	事業名	R6年度 事業費	R5年度 事業費	事業費 増▲減
1	拡充	西区「Zero Carbon」推進事業	3,147	2,909	238
2		交通安全事業	2,937	6,440	▲3,503
3	拡充	地域防災活動推進事業	12,530	12,503	27
4		安心して暮らせるまちづくり推進事業	610	1,980	▲1,370
5		食中毒・感染症予防対策事業	1,147	1,212	▲65
小 計			20,371	25,044	▲4,673

5 親しみやすい区役所づくり

(単位:千円)

番号	新規 拡充	事業名	R6年度 事業費	R5年度 事業費	事業費 増▲減
1		区庁舎・区民利用施設環境整備事業	5,039	5,631	▲592
2	拡充	サービス改善推進事業	2,755	2,605	150
小 計			7,794	8,236	▲442
合 計			100,653	99,012	1,641

3-(2) 令和6年度 西区編成予算(案)主要事業

地域のつながりづくり

ア 「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」(西区地域福祉保健計画)の推進 (福祉保健課)
【予算額 2,469千円(対前年度比 137千円増)】

西区では、「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」(西区地域福祉保健計画、愛称：にこまちプラン)を西区の総合的な計画と位置づけ、その推進にあたっては、地域包括ケアシステムの構築と一体的に取り組みながら、地域の様々な活動を支援することで、住民同士の「顔の見える関係づくり」や、地域課題の解決に住民が取り組む機運を一層広げることを目指しています。

令和6年度は、第4期計画(令和3～7年度)の4年目を迎え、「区全体計画」は、現行計画の進捗等について振り返りを行い、次期第5期計画の策定作業に着手します。また、「地区別計画」に関しては、区社会福祉協議会や地域ケアプラザと連携した地区支援チームが各地区の取組を積極的にサポートするとともに、次期計画につながるよう現行計画の振り返りを行います。

併せて、地域の皆様等に地域活動や福祉保健により関心を持っていただけるよう広報・啓発にも取り組めます。

(1) 「にこまちプラン」の推進等(2,469千円)【拡充】

① 「にこまちプラン」(第4期西区地域福祉保健計画)の推進

地域における様々な課題の解決に向けて、区役所、区社会福祉協議会、地域ケアプラザが連携しながら、取組を行うとともに、「地区別計画」の推進に向けた地域活動を協働で支援していきます。

また、「区全体計画」については、福祉保健分野に精通したアドバイザーの助言のほか、各分野の代表者で構成された「推進評価委員会」での意見を聴取して推進するとともに、第4期計画の振り返りを行い、令和8年度から開始する第5期計画の骨子を作成します。



推進評価委員会

■参考：第25回 西区地域福祉保健計画推進・評価委員会

【開催日】令和5年7月7日

【会場】西区役所3階AB会議室

【内容】

- ・第4期西区地域福祉保健計画の概要説明
- ・令和4年度区全体計画の振り返り(意見交換) 等

② 「にこまちプラン」(第4期西区地域福祉保健計画)の 広報・啓発

地域活動の情報やノウハウを共有して活動の充実につなげるため、地区別計画の取組発表などを中心とした「にこまちフォーラム」を開催します。

また、広報よこはまの特集や地区別計画紹介動画のYouTube配信、さらにはオリジナル啓発ノートの配布など、区制80周年の様々な機会を捉えて、積極的なPRを行います。

加えて、小学校へへの出前講座を実施するなど「子ども向け啓発」を進め、子どもたちやその親世代(現役世代)の参加意識を醸成し、新たな担い手の発掘・育成につなげます。



にこまちフォーラム

■参考：区制80周年記念 令和5年度にこまちフォーラム(予定)

【開催日】令和6年2月17日

【会場】西公会堂

【内容】

第1部 各地区の活動発表

コロナ禍を乗り越え、にぎわいを取り戻した地域活動の様子や子どもたちの取組を、動画にまとめて発表します。

第2部 区制80周年記念にこまちパネルディスカッション

にこまちプラン推進の主体となる団体や関係機関の代表の方々から、これまでの振り返り、西区の未来についてお話をいただきます。

イ 区制80周年記念事業（主催：西区制80周年記念事業実行委員会）【拡充】 （区政推進課）
【予算額 9,500千円（対前年度比 7,500千円増）】

連合町内会・自治会などの地域団体や、学校、企業の皆様で構成された、西区制80周年記念事業実行委員会（以下、「実行委員会」という）において実施する、区制80周年を祝う記念事業に対し助成を行います。記念事業は、謎解きデジタルスタンプラリーや、商店街・個店の魅力を発信する冊子の発行などを「温故知新 歴史をつむいで未来をつくろう」をキャッチフレーズに、大人はもちろん、子どもたちの思い出に残るものとし、地域への愛着を深める契機とします。

なお、実行委員会においては、個性ある区づくり推進費(補助金)のほか、協賛金を活用します。

※詳細は、3-(3)「区制80周年記念事業の取組」を参照



「西区虫の音を聞く会」での彦根鉄砲隊の演武
 （令和元年度）



70周年記念式典の様子

■参考：これまでの機運醸成の取組

- ・募集・投票によりロゴマークを作成(8月)
- ・区・横浜魅力発信アンバサダー・高城れにさん（ももいろクローバーZ）からの祝いメッセージ動画（11月～）
- ・西区民まつり等における西区制80周年PRブース出店、80周年認知度アンケート調査の実施（11月～）



西区制80周年記念ロゴマーク



高城れにさんのお祝いメッセージ



区民まつりでのアンケート

いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

ウ 高齢者あんしん生活サポート事業

(高齢・障害支援課)

【予算額 2,864千円(対前年度比 231千円減)】

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を送れるよう、「横浜型地域包括ケアシステム構築に向けた西区アクションプラン」に基づき、「地域包括ケアシステム推進事業」「認知症等高齢者支援事業」「健康づくり・介護予防事業」の取組を推進します。

(1) 地域包括ケアシステム推進事業(891千円)【拡充】

① 啓発キャンペーンの実施

期間を定め、「在宅医療・介護連携」「生活支援・社会参加の充実」「介護予防」「認知症対策」の推進に関する関係機関や区役所等の取組を一体的にPRするとともに、パネル展を通して、地域包括ケアシステムを広く周知します。また、オンラインツールを活用した広報（動画広告の配信）により新しい関心層へ訴求します。(11月～)

② 地域ケア会議の充実

地域包括ケアシステムの構築に向けた区レベル・地域包括支援センターレベル会議の充実を図るため、地域課題の抽出から課題解決につなげるためのアドバイザー派遣や、有識者の講師を招聘します。

(2) 認知症等高齢者支援事業(843千円)

① 軽度認知障害（MCI）・認知症の早期対応の機会づくりの促進

認知症の早期対応の機運を高めるため、区民が気軽に脳健康チェックができる機会をつくる（200人分、エーザイ「のうKNOW」を活用、通年）とともに、予防につながる活動を推進し、必要な方にはもの忘れ検診等、必要な支援につなげます。

軽度認知障害（MCI）と診断された方に対し、認知症予防のポイントと予防につながる活動ができる地域の居場所について紹介したリーフレットを、地域包括支援センターや医療機関等の関係機関と連携し、配布します（通年）

認知症の重症化予防に効果のある運動等を、地域の身近な居場所で実践できるような講師派遣を行います（通年）。

■参考：令和5年度 認知症普及啓発講演会「俳優・山本學さんと主治医から学ぶ 認知症との向き合い方」
【開催日】令和6年2月23日 西公会堂 ホール 【対象者】どなたでも
【講師】山本學氏（俳優）、朝田隆氏（メモリークリニックお茶の水 理事長）

② 認知症サポーター養成講座・普及啓発人材育成研修の実施（健康福祉局 区配事業含む）

認知症に優しいまちづくりを進めるため、引き続き、地域住民、学校や企業等の要請に応じ、認知症サポーター養成講座を実施します。（通年）

また、認知症キャラバン・メイト（登録者数177名）等に向けて人材育成研修を交流会と合わせて実施し、地域における自主的活動につながるよう支援します。（6月、2月予定）

(3) 健康づくり・介護予防事業(1,130千円)

① 「ころばんよ体操」を活用した健康づくり

4つの効果(ロコモティブシンドローム・メタボリックシンドローム・認知症予防、オーラルフレイル予防)がある西区のご当地体操「ころばんよ体操～パタカラバージョン～」と、後期高齢者や障害者でも取り組みやすい「ころばんよ体操～Part 2～」を活用し、区民の健康づくりや地域における自主的な活動の活性化に努めます。(通年)



ころばんよ体操
～パタカラバージョン～

② 介護予防活動人材育成研修等の実施 (健康福祉局 区配事業含む)

西区の健康課題であるフレイル予防の重要性を啓発するため、医学博士、管理栄養士である大学名誉学長による講演会を開催します。(5月29日予定)。また、地域における介護予防活動のリーダーとなる「げんき活動応援団」(登録者数26名)等の人材育成研修及び介護予防活動グループ交流会を開催(7月、11月予定)し、地域における体力チェック等の活動の充実を図ります。



令和5年度介護予防講演会の様子

また、地域の身近な居場所における、栄養を切り口とした介護予防啓発を実施します(通年)

■参考：令和5年度 介護予防講演会「備えあれば憂いなし 運動の極意と貯筋のすすめ」
 【開催日】令和5年6月1日 西公会堂 ホール
 【対象者】西区在住の高齢者を中心にどなたでも参加可能
 【参加者】299名

③ 介護予防リーフレットの配布

地域における介護予防に関する自主的活動の場や健康づくりの取組等を紹介するリーフレットについて、屋内編と屋外編をまとめた新たなバージョンを作成し、地域における介護予防等を促進します。(通年)



「お元気活動応援マップ 屋外編」
公園・屋外で活動中のグループ紹介

エ 障害のある人も住みやすいまちづくり事業

(高齢・障害支援課)

【予算額 3,949千円(対前年度比 111千円減)】

障害のある人が住み慣れた地域で安心して生活できるように、障害に対する理解を深める啓発活動や、電源を要する医療的ケアが必要な在宅障害児・者等への災害対策、障害者が自ら望む生活の選択を支援しながら、障害のある人も住みやすいまちづくりを目指します。

(1) 障害のある人に対する理解を深めるための啓発・PR事業(3,189千円)

イベントや広報印刷物等、様々な機会を通じて啓発活動を行っていきます。

① 地域防災拠点訓練での啓発

災害時に配慮が必要な障害者について、地域防災拠点訓練の参加者に、障害者が避難してきた際の配慮等を、訓練の中でミニ講座を行うなどして周知を行います。(3か所程度)

■参考：令和5年度地域防災拠点訓練での障害啓発
【実施日・場所】 9月3日 軽井沢中学校 参加者：86名
9月10日 稲荷台小学校 参加者：50名
10月15日 東小学校 参加者：68名



令和5年度地域防災拠点訓練

② 障害理解促進のためのイベント企画

障害者施設の利用者等が制作した作品の展示や事業所製品の販売を、区内障害者施設で行います。

(2月予定)

地域活動ホームガッツ・ビーと西等の関係機関と連携して、障害のある方と地域住民とのふれあいの機会を企画します。(通年)

■参考：令和5年度西区防災フェスタ(予定)
【実施日】令和6年2月23日
【場所】生活創造空間にし
【参加者】地域住民300名(予定)



障害者施設利用者の作品展示

③ 地域住民への啓発

障害理解を深める啓発活動として、障害者施設紹介リーフレット「西区style」を区民まつり等の機会一般の方に配布します。(通年)

④ 障害者施設利用案内の配布

区内障害者通所施設利用案内冊子「にしナビ」を障害当事者及び家族の相談に配付します。基幹相談センター、生活支援センターでの活用も進めます。

(通年)



障害施設紹介リーフレット「西区 Style」



障害者通所施設利用案内「にしナビ」

(2) 電源を要する医療的ケアが必要な在宅障害児・者等への災害対策(560千円)

人工呼吸器や吸引器などの電源を要する医療機器を日常的に使用している方が災害時に向けた備えを進められるよう支援を行います。

① 災害時個別支援計画(「わたしの災害対策ファイル」)の作成支援

災害時を想定し日頃からの備えとして、行動手順や医療情報をまとめた「わたしの災害対策ファイル」を区内訪問看護ステーションと連携し、対象者への配付と計画の作成支援を行います。(通年)



わたしの災害対策ファイル

② 福祉避難所と連携したガス式発電機稼働訓練の実施

長時間に渡る停電時に備え、臨時的に充電ができる場所として、区内の福祉避難所6カ所に発電機を設置しています。発災時に速やかに対応できるよう、福祉避難所で機器点検・稼働訓練を実施します。(通年、6か所)

③ 地域防災拠点(指定避難所)への発電機の配付

地域防災拠点(指定避難所)にある通常の発電機に加え、電源を要する医療機器を使用している方が、災害時に充電できるように新たに発電機を配付します。12か所の地域防災拠点のうち年間3ヶ所ずつ配付し、医療用充電ステーションとして整備していきます。(通年)



医療用充電ステーション用発電機

■参考：令和5年度配付先地域防災拠点
一本松小学校、軽井沢中学校、老松中学校

(3) 障害者の地域生活支援事業(200千円)

障害者に対する地域生活支援の検討にあたり、必要とされるニーズの把握及び、障害者が地域の中で安心した生活を送るための企画・検討を行います。(通年)

また、障害者の地域移行や一人暮らしを円滑に進めるため、区内で一人暮らし体験ができる施設や体験事業を紹介するリーフレット「じぶんらしく、にしく」

(令和5年度作成)を障害当事者やその家族、支援機関等に広く配布し理解を促進します。(通年)



リーフレット「じぶんらしく、にしく」

オ 子育て支援の推進

(こども家庭支援課)

(西区で子育て学び隊事業、西区の保育施設つながり事業)

【予算額 4,557千円(対前年度比 475千円増)】

西区は他区に比べ、出生数に占める第1子の割合や35歳以上で出産する人の割合、転入・転出者の割合が高いことを踏まえ、子育て家庭が地域で孤立することなく安心して子どもを産み育てられるよう、プレパパママクラスや赤ちゃん教室などを実施し、地域とのつながりを大切にしながら子どもの健やかな育ちを応援します。

(1) 西区で子育て学び隊事業(3,987千円)【拡充】

① プレパパママクラス

妊娠6～9か月の妊婦とそのパートナーが妊娠・出産・子育てに関する基礎知識を学ぶための「プレパパママクラス」を3回1コースで実施しています。このうち参加ニーズの高い沐浴・おむつ交換などの体験を行う講座は、引き続き休日にも開催し、区役所会場(年6回)の定員を増やします(20名→24名)。その他、委託により地域子育て支援拠点など区役所以外の会場でも実施します(年6回)。

“親になる前からの支援”を充実させ、赤ちゃんの誕生を父母がともに安心して迎え入れ、一緒に子どもを育てることの大切さを学ぶ機会としていきます。



プレパパママクラス

② よちよちパパママ育児教室

初めてのお子さん(生後1か月～1歳未満)を持つ保護者を対象に、親子のふれあい遊びや夫婦で取り組む子育てを学ぶ育児教室を土曜日(年6回)に開催するほか、平日にも開催します(年4回)。プレパパママ教室と同日開催し、参加者同士の交流を図ります。

③ 赤ちゃん教室

0歳児とその保護者や妊娠5か月以上の妊婦を対象に、子育てに関する情報交換や仲間づくりを目的に、地域の方の協力もいただきながら、区内9会場で開催します(年10回×9会場)。令和6年度からベビーマッサージを新たに加え、様々なプログラム(歯みがき、離乳食、親子遊び、子どもの救急蘇生法と事故予防)により情報を提供し、初めての子育てをサポートします。



赤ちゃん教室

④ 中学校いのちの教室

西区を主な通学区域とする市立中学校(全5校)の3年生を対象に、「中学校いのちの教室」を実施します。助産師による性教育を通じて、生徒自身が正確な知識と情報を持ち、安全な性行動を選ぶことを学ぶ機会とします。また、命の尊さを伝えることにより、自分自身も大切な存在だと感じ今後の人生において主体的に意思決定していく力を身につけることにもつなげていきます。

⑤ その他の子育て支援の推進

子育て応援ガイドや保育施設等一覧による子育て情報の提供などを行います。

また、子育て家庭が手軽に情報を得られるよう、子育て情報の動画を作成し、オンラインで配信します。



表紙



中面（抜粋）

子育てガイド（西区子育て航海図）

(2) 西区の保育施設つながり事業(570千円) 【拡充】

区内子育て関連施設が連携して、地域の会場に出向いて地区ごとの出前育児講座や、保育の質向上に向けた研修等を実施します。

また、南浅間保育園において、地域の親子に向けた子育て支援事業を実施します。



地域の親子に向けた育児支援の様子

まちの回遊性向上とにぎわいづくり

カ 地域連携推進・回遊性向上事業

(区政推進課)

【予算額 5,337千円(対前年度比 1,056千円減)】

区民・企業・団体の皆様と連携協働しながら、環境に配慮した行動の定着を目指すとともに、花と緑や史跡をはじめとした、地域資源を活用した区内の回遊性の向上や魅力の発信等、活気あふれるまちづくりを推進し、令和6年に迎える西区制80周年及びGREEN×EXPO 2027の一体的な機運醸成を図ります。また、地域で活動する様々な団体等と連携し、地域の主体的な取組を支援しながら、身近な地域課題の解決に取り組みます。

(1) 地域資源を活用したまちの回遊性向上事業(2,711千円)

にしく緑花サポーター制度の推進や、ガーデンネックレス横浜事業と連携した魅力スポットの創出を図るとともに、GREEN×EXPO 2027に向けて機運醸成を行います。また、西区制80周年の機会を捉え、区内の魅力資源を発掘・発信し、区内の回遊性を促進します。

① 地域資源を活用した花と緑のまちづくりの推進

「にしく緑花サポーター」に登録いただいた団体等への花苗等の配布を通じて、サポーターと協働し、花と緑のまちづくりを推進します(花苗等の配布は春秋の年2回実施)。

これらの取組を通じて、GREEN×EXPO 2027に向けた区内の機運醸成や、近隣区と連携した効果的な周知に繋がります。また、「ガーデンネックレス横浜」事業と連携し、区内に点在する花と緑の地域資源を活用し区内の回遊性を高めます。

■参考：にしく緑花サポーター

【開始年度】令和3年度

【対象】花壇等において緑化に取り組む区内の小中学校や公共施設等

【登録数】30か所(令和6年1月末時点)

〈内訳〉保育園、小・中学校：15か所

公共施設等：15か所



西区民まつりで、区の花「すいせん」の球根配布の様子

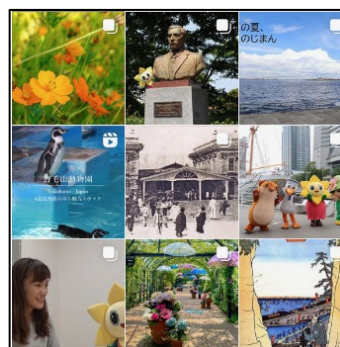


にしく緑花サポーターを通じた花植えの様子

② イベント等を契機としたまちの回遊促進

西区制80周年を機に、西区内の様々な魅力を市民目線で発掘・発信していただく機会として、SNSを活用したフォトイベントを開催します。

また、まち歩きルート「温故知新のみち」の周知や、区内に設置している案内サインについて活用します。



西区公式Instagramでの魅力発信の様子

(2) 環境行動推進事業(2,101千円)

区民・企業・学校・行政の各主体が相互に連携・協力し、環境に配慮した具体的な行動の定着に向けた取組を実施します。

① 若い世代に向けた環境行動推進の取組

次世代を担う若い世代に向けて、環境に配慮した具体的な取組やSDGs達成に向けた取組を行うきっかけとして、参加型取組「にしくSDGsチャレンジ」や、区内企業と連携した環境学習イベントを実施します。

■参考：にしくSDGsチャレンジ
【事業概要】 SDGsに関連した3つの取組にチャレンジし、応募いただいた方に、抽選で景品を進呈。
【対象】 西区の小中学生
【応募】 180名（令和5年度実績）
【チャレンジ概要】 経済・社会・環境の3分野に関連する取組メニューの中から、3つ選んで応募すると景品をプレゼント

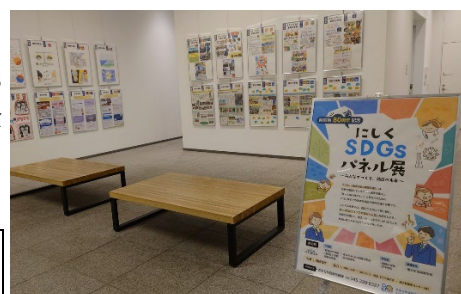


にしくSDGsチャレンジ 取組の様子

② 区内におけるSDGs達成に向けた機運醸成

若い世代が中心となって区内の環境配慮行動やSDGs達成に向けた取組を進める機運醸成を図るため、区内企業・団体等と連携しながら、次世代が作成した、SDGsに関する作品のパネル展を開催します。

■参考：「にしくSDGsパネル展」
【実施期間】 令和6年1月18日～令和6年3月2日
【事業概要】 西区の若い世代が作成した絵画などの作品を展示
【会場】 市庁舎及び区内4会場にて巡回展示
【参加校】 8校
【作品数】 約60点



「にしくSDGsパネル展」展示の様子

(3) 地域連携交流事業(465千円)

「にこまちプラン」の推進に向けて、地域支援の拡充と地域人材の発掘・育成を図るため、財政支援を行うほか、まちづくりアドバイザーを派遣します。

また、包括連携協定を締結した神奈川大学との連携強化を図ります。

① 西区地域づくり大学校修了生支援補助金

西区地域づくり大学校の修了生の地域活動の円滑なスタートに向け負担軽減を図ることを目的として補助金の交付を行います。

② 西区まちづくりアドバイザー派遣

地域が実施するまちづくり活動の企画・運営に対し、専門的な立場から助言を行い、地域の自主的活動を支援するためにまちづくりアドバイザーを派遣します。

③ 神奈川大学との連携

神奈川大学との包括連携協定に基づき、地域の課題解決やSDGsの推進など新たな展開が創り出せるよう、具体的な取組についての協議を進めていきます。

■参考：令和5年度における神奈川大学との連携実績例

- ・神奈川大学みなとみらいキャンパスホップ栽培プロジェクト
- ・「防災・減災対策」講座の開催（7月13日）
- ・【西区×観光ラウンジPBL】発展するみなとみらい&昔ながらの西区魅力発信プロジェクト（10月～11月）
- ・にしくSDGsパネル展～みんなでつくる、西区の未来～（2月～3月）



PBL プログラムチラシ

【予算額 2,910千円(対前年度比 119千円減)】

商店街活性化と誘客促進を進めると同時に、周辺の地域資源の魅力を情報発信することで“まちのにぎわい”を創出します。また、西区制80周年記念事業実行委員会と連携し、機運醸成につながるよう、効果的に進めていきます。

(1) 西区商店街スタンプラリー事業(2,360千円)

区内の商店街等にある店舗を巡るスタンプラリーを開催し、商店街や個店への誘客促進を図り、併せて、まちの賑わい創出につなげます。

区制80周年の機運醸成として、開催期間等を含め、西区商店街組合連合会と連携して進めていきます。



スタンプラリー冊子(令和5年度)

■参考：令和5年度開催内容

西区商店街スタンプラリー

10月1日(日)～10月31日(火)(12商店街：146店舗)

応募件数：1,107件

【参加者からの主な声】

- ・地元の商店街で買い物をする機会が増えました。
- ・戸部まで散策。周辺にも色々なお店を見つけたので、運動も兼ねてまた行きます。
- ・横浜へ越してきて初めての秋でしたが、気になっていたお店に行ったり隣町まで散策したりと楽しく過ごせました。
- ・スタンプラリー毎回楽しみにしています。



専用アプリ不要。
二次元コードを読み取ってスタンプを貯めます。

デジタルスタンプラリー(令和5年度)

(2) 西区情報発信事業(550千円)

自治会・町内会長等へのアンケート結果を基に、店舗の選定を行い、西区の商店街等にある店舗を紹介する冊子を発行するとともに、西区のホームページ等を活用した情報発信を行います。

なお、冊子の発行にあたっては西区制80周年記念事業実行委員会において検討を進めている「商店街と個店をつなげる冊子の発行(部会2)」と一体的に取り組むことで、西区の魅力を広く区民、来街者へ発信していきます。

【予算額 4,639千円(対前年度比 1,395千円増)】

区民が様々なスポーツを体験する機会を創出し、各種競技への理解・関心を高めます。

ウォーキングイベントの開催により、子どもから高齢者まで幅広い年齢層がスポーツを通じて地域に愛着を持つ機会を創出します。これらの事業は、区制80周年事業と連携し、機運醸成につながるよう、効果的に進めていきます。

(1) トップスポーツチームとの連携 (180千円)

横浜市のトップスポーツクラブと「区民DAY」を開催することで、区民へのプロスポーツの観戦機会を創出し、スポーツへの関心を高めます。

■参考：

①令和5年度 にし区民DAY (横浜FC)

【開催日】令和5年7月1日

ガンバ大阪戦 ニッパツ三ツ沢球技場

【対象者】西区在住・在勤・在学の方先着1,000名様を優待
(高校生以下招待)

【来場者】542名 (全来場者10,348名)

②西区民・中区民ご招待DAY (横浜キャノンイーグルス)

【開催日】令和6年1月13日

リコーブラックラムズ戦 ニッパツ三ツ沢球技場

【対象者】西区・中区在住・在勤・在学の方先着1,000名様を招待

【来場者】1,123名 (全来場者7,010人)

③(予定)西区民デー (横浜エクセレンス)

【開催日】令和6年2月23・24日

徳島ガンバロウズ戦 横浜武道館

【対象者】西区・中区在住・在勤・在学の方先着200組
(1組5名まで)ご招待

にし区民 DAY (横浜 FC)

西区民・中区民ご招待 DAY
(横浜キャノンイーグルス)

(2) インクルーシブスポーツの推進 (884千円) 【新規】

インクルーシブスポーツ等の体験会を実施し、各種競技への関心や理解、競技団体等との交流を深める機会を創出します。

■参考：令和5年度実績

【開催日】令和5年11月5日 西前小体育館

【参加者数】1,237名

【種目】ポッチャ、モルック、レーシング用車いす試乗体験、
車いす走行体験【協力団体】横浜市スポーツ協会、さわやかスポーツ普及委員、
横浜ラポール、バセル、スポーツ推進委員、青少年指導員、西スポーツセンター

モルック体験の様子

(3) 西区制80周年記念ラジオ体操（500千円）【新規】

区制80周年の記念事業として地域の団体と連携して実施し、「ラジオ体操」を通じた機運醸成及び地域によるスポーツの推進を目指します。（8月予定）

(4) 西区ハマのウォーキングフェスティバル(2,200千円)

区民の健康づくりと西区の魅力再発見を目的として、「西区スポーツ振興事業推進委員会」の主催により、広く区民を対象としたウォーキングフェスティバルを実施します。

■参考：第17回西区ハマのウォーキングフェスティバル

【開催日】令和5年12月3日

【参加者数】1,054名

【コース】ぐるり文明開化コース(長距離/約8km)
ぶらり開港コース(短距離/約4km)



ゴール会場(臨港パーク)(令和5年度)

(5) 区民スポーツ振興事業、区青少年活動推進事業(875千円)

西区スポーツ協会、青少年育成団体等へ補助金を交付し、活動を支援します。

ケ 西区「Zero Carbon」推進事業

(地域振興課)

【予算額 3,147千円(前年度比 238千円増)】

横浜市一般廃棄物処理基本計画に基づく、ごみの資源化・減量化啓発事業の実施や地域清掃の支援により、地域におけるごみの減量・3R意識の向上と地域美化の進展を目指します。

「ヨコハマ3R夢プラン」に続く、新たな処理基本計画「ヨコハマ プラ5.3 (ごみ) 計画」が策定されましたが、脱炭素社会の実現に向け、引き続きごみ減量を進めるために食品ロス削減・ごみの分別や生ごみ水切りの更なる徹底などの発生抑制(リデュース)について、区民、事業者に粘り強く働きかけていきます。

また場所や時間の制限を受けにくいオンラインを活用した環境学習の実施や区民・企業等と連携した地域清掃活動を展開し、事業効果の最大化を図ります。

さらに、首都圏有数のターミナルである横浜駅周辺地区をはじめとして、きれいな街づくりを推進するため、地域ニーズに配慮した活動を進め、美化・清掃活動を積極的に行います。

なお、各事業において、西区制80周年の機運が高まるよう効果的な事業展開を進めていきます。

※3Rや安定的なごみ処理に加え、燃やすごみに含まれるプラスチックごみを2万トン削減(市民1人あたり年間5.3kg)することで、脱炭素社会の実現に貢献していくことを目的としています。

(1) 環境に配慮した行動推進事業(862千円)

① ごみの減量・リサイクルの推進、ごみの発生抑制、食品ロス・手つかず食品の削減、プラスチック削減

ごみの減量・資源化と並行してフードロス・プラスチック削減普及啓発について、積極的に取り組んでいきます。

環境行動推進本部総会及び西区環境行動功労者表彰を実施し、地域において、ごみの減量・リサイクルにかかわる実践活動、啓発活動など、3Rの推進に功労のあった個人又は団体に対し表彰を行います。

世界的な課題となっているプラスチック問題を幅広い区民の方に関心を持ってもらうため、フードロス・プラスチック削減イベント時には環境負荷を抑えた製品やプラスチック代替素材を原料とした啓発物品を使用します。

企業と協働して実施している店頭啓発では、環境問題を身近な事に感じてもらうため、親子で楽しみながら学べるワークショップを実施します。

また、デジタルサイネージを活用した啓発では企業と連携し、フードロス問題と防災を絡めるなど、区民の関心の高い内容で行うことにより、効果的な啓発を引き続き実施していきます。



プラスチックフリー啓発物品の例



デジタルサイネージを活用した視認啓発の例
(無印良品 NEWoMan YOKOHAMA)

② 啓発や環境学習の推進

小学生を対象とした環境学習では(公財)横浜市資源循環公社と連携したリサイクル講座を実施します。

リサイクル講座では座学以外にも体験的要素を取り入れ関心をひくことで、児童達のリサイクルに対する理解度を高めています。

また、各学校の要望に合わせて、場所や時間の制限を受けにくいオンライン講座や企業と連携した環境学習の実施など、幅広いプログラムで展開していきます。



リサイクル講座（エコキャンドル作り）の様子
(一本松小学校放課後キッズクラブ)

(2) 清潔で美しい街づくり推進事業（2,285千円）【拡充】

自治会・町内会等による地域清掃活動を支援するため、必要とする清掃用具を配布します。(希望調書：4月、清掃用具8月頃配布予定)

区内の高校・企業と連携し、横浜駅西口周辺地区の清掃・組成調査を行う地域貢献活動を、今後も地域において幅広い年代の方に関心を持っていただける活動として展開します。

また、企業・団体等による清掃活動（WELCOME YOKOHAMA CLEAN SUPPORTER）を支援するとともに、横浜の玄関口である横浜駅周辺での大規模清掃活動「横浜駅をきれいに！」キャンペーンの他、区局が連携した行政による清掃活動を引き続き実施します。

さらに、ポイ捨てをされない環境づくりを目的に地域・行政で立ち上げた検討会では、定期的に会議の場を持ち、地域課題を吸い上げることや、ポイ捨ての多いエリア・時期にごみ箱の設置や清掃委託の実施を検討することで、街の美化・環境改善の拡充を図ります。

なお、ごみのポイ捨て対策として、帷子川沿いのポイ捨て禁止看板や新田間川遊歩道で実施している横断幕・ポイ捨て抑制路面シールによる啓発を継続するとともに、企業の協力を得て放映した街の美化に関する啓発画像やポイ捨ての多い場所へのポイ捨て禁止看板、ステッカーの貼付を行うことで「清潔で美しい街づくり」を推進していきます。



横浜平沼高校生徒による清掃活動



クリスマス清掃イベント

コ 地域防災活動推進事業

(総務課)(福祉保健課)

【予算額 12,530千円(対前年度比 27千円増)】

西区の「安全・安心なまちづくり」の実現に向け、地域防災拠点訓練、小中学生向け防災セミナー、防災啓発イベント等を実施し、自助・共助の取組を推進します。また、関係機関と連携した各種訓練を実施し、区本部機能の強化を図ります。

(1) 地域防災拠点の機能強化(1,500千円)

① 円滑な避難所運営と多様な避難者への対応支援

円滑な地域防災拠点(以下、「拠点」)運営ができるよう、新たな資機材を配備するとともに、避難スペース確保のため、補足的避難所の活用も想定した訓練を実施します。

また、乳幼児、高齢者、障害者といった要配慮者など多様な避難者に拠点对応できるよう支援を行います。



一本松小学校地域防災拠点訓練
(令和5年度)

② 地域防災拠点訓練の実施

発災時に拠点が円滑に開設・運営されるよう、引き続き訓練を実施します。

(防災週間(8月)～3月、年1～2回)

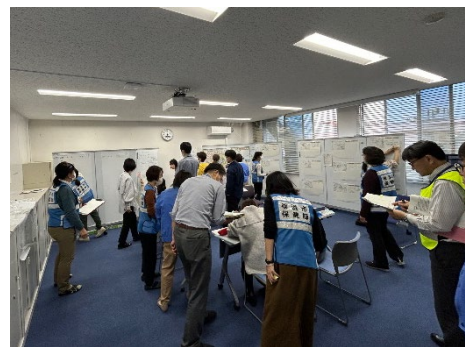
訓練の実施にあたっては、マニュアルや訓練事例を各拠点と共有し、各拠点の現状を踏まえた訓練の実施を支援します。

(2) 区本部の防災機能強化(5,674千円)

① 震災・風水害対策の強化

災害時を想定した区本部のシミュレーション訓練を実施し、発災時における区本部の災害対応力を強化するとともに、区社会福祉協議会と連携し災害ボランティアセンターの設置訓練等を実施します。

- ・風災害対策訓練(5月)
- ・津波避難施設開設訓練(8月)
- ・ボランティアセンター設置訓練(10月)
- ・震災対策訓練(11月)



区災害対策本部訓練の様子(令和5年度)

② 帰宅困難者対策の強化

横浜駅情報連絡本部であるJR横浜タワーを中心とした情報受伝達訓練や、帰宅困難者への対応を想定した区災害対策本部訓練を実施します。また、帰宅困難者一時滞在施設と連携し、帰宅困難者の受け入れに関するシミュレーション訓練を新たに実施します。

③ 災害医療対策の推進

区内医療機関・医療局との通信訓練(隔月)や医療救護隊巡回訓練及び医療救護隊検討会、区本部訓練等を通じて、発災時の対応力を強化します。

また、災害医療連絡会(2～3月予定)を通じて区内の関係機関・団体と連携し、災害時の医療救護体制の課題や対応策について検討します。

(3) 自助・共助の推進(5,356千円)【拡充】

① 地盤品質判定士による崖地に関する無料相談会の実施

相談者の満足度が非常に高い、地盤品質判定士による崖地に関する無料相談会を引き続き実施し、民有地崖・擁壁の適切な維持管理の啓発を図ります。(6月)

■参考：令和5年度実績

参加者：6月18日(6組)、19日(6組) 計12組

アンケート結果(満足度)：大変満足9組・満足3組



崖地相談会の様子(令和5年度)

② 木造住宅密集地域における減災対策

感震ブレーカー(簡易タイプ)の購入に係る補助事業を引き続き推進します。感震ブレーカーの認知度向上及び火災延焼対策としての有効性の理解促進を図るため、単位町内会への個別説明や防災指導等の機会に西消防署と連携して啓発活動を行います。

また、老朽化した初期消火器具等の更新に係る補助事業を引き続き実施し、延焼火災対策を推進します。

■参考：過去3年の実績

【感震ブレーカー補助実績】

・令和3年度：6団体・144個

・令和4年度：2団体・90個

・令和5年度：2団体・15個(令和6年1月末)

【初期消火器具更新実績】

・令和3年度：3団体・4基

・令和4年度：1団体・1基

・令和5年度：2団体・2基(令和6年1月末)

③ 区民への防災・減災の普及啓発

多世代への防災・減災啓発を目的に、西消防署等と連携した防災イベントを新規に実施します。(9月)

また、区制80周年ロゴマーク入り防災啓発グッズの活用や子育て世帯への防災啓発グッズの配布、広報よこはま西区版で防災特集による啓発、次世代の防災の担い手となる小・中学生に向けたセミナーなど、あらゆる機会を捉え、啓発を実施します。



小学生向け防災セミナーの様子(令和5年度)



区制80周年ロゴ入りLEDランタン

3-(3) 区制 80 周年記念事業の取組



「温故知新のみち」
案内サイン

1 実行委員会が実施する主な取組（※実施時期は予定を含みます）

(1) 温故知新のみち謎解きデジタルスタンプラリー（2/15～3/15）

歴史ある西区の魅力を再発見できる散策ルート「温故知新のみち」沿いに点在する総合案内サイン（全 14 か所）を、謎解きしながらめぐるスタンプラリーを実施します。

(2) 温故知新のみちガイドツアー（実施日：3/2、3、10）

横浜の成長とともに大きく変貌してきた西区のまちを、ガイドの歴史解説とともに歩くガイドツアーを実施します。

- ・コース：港の発展を支えた産業コース、旧東海道と新田開発コース、近代水道と藤棚商店街コース

(3) 商店街・個店の魅力を発信する冊子の発行（5月下旬～6月上旬発行予定）

自治会町内会長をはじめとした区民の皆様や来街者の方々からいただいた西区内のオススメのお店に関する情報を基に、「創業 80 年以上のお店」「創業 8 年以内の新しいお店」等、8 つのテーマ別にお店を紹介する冊子を発行します。



【参考】区制 70 周年を
記念し発行した冊子
「ハマにしへ行こう！vol.3」

(4) 記念ノベルティの制作（9月）

西区内の小学生に、西区の歴史が学べ、記念となるクリアファイルを配布します。

(5) 西区の魅力を再発見するスタンプラリー（10月～12月）

西区の 7 つのエリアをめぐり、魅力を再発見してもらうスタンプラリーを実施します。全てのスタンプを捺すと、西区にちなんだ絵柄が完成します。

(6) 記念作品の制作（11月）

区庁舎前にある区制 50 周年を記念して制作した石のベンチのリニューアル等を行います。
（作品周辺の庁舎前環境整備には、一部個性ある区づくり推進費を活用します。）

(7) 記念式典の開催、記念冊子の発行（11月）

記念冊子については、多くの方に見ていただけるよう、Web 版を中心に発行します。

※上記の事業費については、補助金のほか、各団体からの協賛金を活用します。

2 西区におけるイベントや区役所等における区制 80 周年記念事業の取組

「西区虫の音を聞く会」や区民まつりなど、これまで地域の皆様と培ってきた季節の行事・イベントや、区役所の事業は、区制 80 周年の特色を出し、更にたくさんの方に楽しんでもらうように取り組みます。

3 地域・団体が実施する区制 80 周年記念連携事業

地域、団体、企業の皆様が主催のイベントについても、「西区制 80 周年記念連携事業」として一緒に 80 周年を盛り上げていただきます。（1 月末までの申請件数 14 件）

区制 80 周年記念連携事業（例）

- ・各地区のお祭りや講座
- ・スポーツチームが行う「区民デー」
- ・商店街イベント
- などを想定。

横浜市西区社会福祉協議会「西区制 80 周年記念補助金」について(5,400 千円)

地区連合町内会・自治会、地区民生委員・児童委員協議会、地区社会福祉協議会を対象に「にこまちプラン（西区地域福祉保健計画）」実現のための地域活動に対し、令和 6 年限りの補助金が創設される予定です。

【参考】年間スケジュール(実行委員会、区役所、地域が主催するもの。財源を問わず掲載しています。)

令和6年1月末現在

日程 ※予定含む	事業・イベント名 (主催者)	主催
1/5	令和6年西区新年賀詞交換会	西区新年賀詞交換会実行委員会事務局
1/11	消費者被害未然防止講座	西区第五地区懇談会(にこまち5)/西地区センター・西公会堂
1/18~3/12	にしくSDGsパネル展~みんなでつくる、西区の未来~	西区役所
2/4	第4地区 紙飛行機大会	第4地区連合町内会、第4地区青少年指導員協議会
2/15~3/15	温故知新のみち謎解きデジタルスタンプラリー	西区制80周年記念事業実行委員会
2/17	にこまちフォーラム	西区役所
2/23	西区防災フェスタ	生活創造空間にし
2/23	俳優・山本學さんと主治医から学ぶ 認知症との向き合い方講演会	西区役所
2/25	スマイル・フェスティバル	西区地域子育て支援拠点スマイル・ポート
3/2、3、10	温故知新のみちガイドツアー	西区制80周年記念事業実行委員会
3/17	第11回西区紙ヒコーキ大会	西区青少年指導員協議会
3/23	さくらフェスタ	みなとみらい21さくらフェスタ2024実行委員会
5月下旬~ 6月上旬	商店街・個店の魅力を発信する冊子の発行	西区制80周年記念事業実行委員会
7月~8月	西区商店街・個店スタンプラリー(仮称)	西区役所
8月	脱炭素・SDGs関連フラワーイベント(仮)	西区役所
8月	西区制80周年記念ラジオ体操	西区スポーツ振興事業推進委員会
8月下旬	西区虫の音を聞く会(彦根鉄砲隊による演武)	ふるさと西区推進委員会
9月	親子向け防災イベント	西区役所
10~12月	西区の魅力を再発見するスタンプラリー	西区制80周年記念事業実行委員会
11月	記念作品の制作、記念冊子の発行	西区制80周年記念事業実行委員会
11月上旬	西区民まつり	西区民まつり実行委員会
11/24	記念式典	西区制80周年記念事業実行委員会
12月上旬	西区ハマのウォーキングフェスティバル	西区スポーツ振興事業推進委員会
12月中旬	西区キャンドルアート	ふるさと西区推進委員会
未定	西区フォトコンテスト	西区役所

※区役所が実施するイベントについては、令和6年度予算が20万円以上増額したものを中心に掲載していますが、区役所の既存事業も予算に関わらず積極的に区制80周年と連携します。

3-(4) デジタル区役所モデル区に係る取組

西区では、横浜DX戦略に掲げられているデジタル区役所モデル区に選定されたことを受け、令和4年5月に「西区デジタル区役所モデル区プロジェクト」を組織し、全区展開を前提とした新たなサービスの創出に向けて、デジタル技術を活用した様々な実証実験等に取り組んでいます。

横浜DX戦略に掲げる**デジタル区役所のコンセプト**である「**書かない・待たない・行かない** **そして つながる**」に基づき実施した令和4、5年度の**西区の取組実績**をご説明します。

● マイナンバーカードを活用した申請書自動作成システム

概要 9月から西区役所の戸籍課と税務課の申請書自動作成システムを利用できます。マイナンバーカードを使って複数の申請書をまとめて作成できます。

効果

Before: 手書き作成 (手間、時間がかかる) → 手書き文字 (見にくい、判読性が低い) → 書類確認 (時間がかかる)

After: 自動作成 (楽、早い) → 機械文字 (見やすい、判読性が高い) → 書類確認 (早い)

所要時間 **約37%短縮** (R4実証実験結果)

カードを読み取ると個人情報記載済みの申請書が印刷されます

R4 R5	R4.9～ 戸籍課、税務課 で実証実験(R4.9～12)、 正式導入(R5.9～) R5.7～ 市民局による書かなくてよい窓口検討WG (西区含む11区が参画) R5.11～ 西区を除く17区中10区の戸籍課で申請書自動作成システムの 実証実験
R6 以降	・ 市民局窓口サービス課主導で、18区の戸籍課に申請書自動作成システムを導入予定 ・ 窓口全体の抜本的な業務改善は、住民記録システム等の標準化に合わせて実施予定 ・ 戸籍課以外の窓口については、デジタル統括本部が関係部署との調整、検討を継続

● スマートフォンを活用した避難所受付のデジタル化

実験の概要 2023年2月、軽井沢中学校の地域防災拠点訓練において、二次元コードを活用したスマホによる避難所受付の実証実験を実施しました。今後課題を整理し、検証していきます。

受付方法の比較

現在	実証実験
避難者カードに手書き	スマホで二次元コードを読み取り、専用フォームで入力(=手書き負担の軽減)
手書きの避難者カードの情報をシステムに手打ち	入力された情報を自動集計(=集計作業の軽減)

実験の結果

- システムの操作難易度 → **約82%の人が簡単、普通と回答**
- 受付から情報集約に要する時間(1人当たり) → **約38%短縮(222秒→138秒)**
- 手書き負担の軽減、誤入力の防止

デジタル技術を使った避難所運営のイメージ

R4 R5	R5.2 軽井沢中学校の地域防災拠点訓練で実証実験 R5.3 QRコード、マイナンバーカードを活用した受付システムの職員体験会 R5.6～ 総務局による避難所受付デジタル化WG (西区含む11区が参画) R5.10～ 市内4か所(旭、港北、青葉、栄)の地域防災拠点で 実証実験
R6 以降	・ 総務局地域防災課主導で、本市全体の避難所受付のデジタル化に向けた検討を継続 ・ 受付システムの実用化に向けて、本市全体での試行運用の実施及び周知・啓発 ・ R5の実証実験を通じて得られた受付以外の課題についても検討

● Web会議システムを活用したオンライン相談窓口

<p>弁護士によるオンライン無料法律相談</p> <p>スマホやパソコンで自宅から弁護士への法律相談が可能</p> <p>申込方法など 9月19日(金) 9月11日(木)12時～ ホームページ(先着6人)</p>	<p>南浅間保育園の保育士によるオンライン育児相談</p> <p>スマホやパソコンで自宅から保育士への育児相談が可能</p> <p>申込方法など 南浅間保育園に電話 312-0942</p>	<p>地域ケアプラザでのオンライン福祉保健相談</p> <p>地域ケアプラザで遠方に住む家族を交えた相談が可能</p> <p>申込方法など 地域ケアプラザに電話 浅間台 311-7593 / 藤棚 253-0662 宮崎 261-6121 / 戸部本町 321-3300</p>
---	--	--

R4 R5	R4.6～ オンライン相談を順次開始し、現在も継続中。オンライン育児相談(R4.6～)、オンライン福祉保健相談(R4.10～)、オンライン法律相談(R5.3～)
R6 以降	・ 実証実験の扱いは終了し、正式なサービスとして今後も継続 ・ これらを参考事例に、 西区内でのオンライン相談のメニューの拡充を検討

● 動画を活用した窓口・電話対応業務の効率化、情報発信力の強化

動画のメリット

- 情報量が圧倒的に多い (静止画テキスト 3,600WEBページ → 動画 1分)
- 記憶に残りやすい

取組事項

- さまざまな事業で動画を活用 (情報発信力の強化) 制度説明やイベント情報、あらゆるジャンルの動画を充実させ、「行政情報を手軽に知りたい」という市民の皆さんのニーズに応えていきます。
- 職員による動画作成 (費用対効果の追求) 動画の品質確保と低コストを両立するため、動画作成ツールを導入し、職員自ら動画を作成します。

動画のご紹介

<p>妊娠・出産に関わる費用助成の説明動画</p> <p>健康券の払戻し(費用助成)について</p>	<p>西区ご当地体験による健康づくり啓発動画</p> <p>こころばい法律</p>	<p>西区地域福祉保健計画の啓発動画</p>
--	---	------------------------

R4 R5	R4.11～ 子ども家庭支援課で健康券の払戻し動画を公開(約1,300回再生/R5.12時点)健康券の払戻しに関する問合せの際に活用し、電話対応時間を66%削減 R6.2～ にこまちフォーラムでの地域紹介動画 、スクールゾーン対策協議会の補助金申請方法動画、がん検診の受診勧奨動画の公開、ほか複数の動画を作成
R6 以降	・ これらを参考事例に、 西区内での動画による情報発信、窓口・電話対応の効率化を拡充 ・ デジタル統括本部主導で、全庁的な動画活用環境構築を実施

● 地域のデジタル化支援、行政と地域の情報共有プラットフォームの整備

自治会町内会でのデジタル活用に向けた取組

- 自治会町内会の現状把握のための実態調査 (今はココ)
- 実態調査により把握した課題に対してデジタル技術の活用を前提とした改善提案(2024年度前半)
- 改善策を実施した後、効果検証(2024年度後半)
- 効果的だった取組を他の自治会町内会に拡充 (2025年度～)

自治会町内会でのデジタル活用事例

<p>デジタル回収板</p> <p>全家庭に届くまで時間がかかる 留守だと渡せない...</p> <p>回収板</p>	<p>会費デジタル集金</p> <p>直接もらうのは気になる 班長1人で何軒も回るは大変</p> <p>一度設定すればあとは毎月楽々 渡す人も受け取る人もお互い楽</p>
<p>イベント情報の共有</p> <p>お祭り予定日の確認 直接行かなくても楽しめる</p>	<p>高齢者の見守り</p> <p>お祭り会場のリアルタイム配信</p> <p>普段どおりの生活(高齢、スマホの動きを収集)</p> <p>自動的に送られてくる情報で、好きなときに相手の状況を確認できる</p>

R4 R5	R4.5～ 区連会のオンライン開催(R4.5)、ホームページのリニューアル(R5.4) R5.10～ 自治会町内会でのデジタル活用に向けた現状把握のための実態調査
R6 以降	・ 市民局地域活動推進課と連携して、地域のデジタル化に関わる取組、行政と地域の情報共有プラットフォームの整備(R6西区区提案)を実施

【参考】西区における開発動向等

地図	概要
①	<p>横浜駅周辺浸水対策</p> <p>(1) 神奈川処理区エキサイトよこはま龍宮橋雨水幹線下水道整備工事業 横浜駅周辺では10年確率降雨(60mm/1時間)に対する整備を行ってきましたが、さらなる治水安全度の向上に向け、30年確率降雨(74mm/1時間)に対応するため、新たに雨水幹線の整備を進めています。 地元の皆様や野球場利用団体と調整を行い、岡野公園の野球場の一部に雨水幹線の立坑を設置する工事を行っています。令和5年12月に雨水幹線のシールド工事にも着手しました。供用開始は令和12(2030)年度を予定しています。</p> <p>(2) 横浜駅周辺における下水道管内水位の情報提供 横浜駅西口周辺において、地下街管理者をはじめ来街される市民の皆様等に、主要な地点における下水道管内の水位情報を提供する取組を開始しました。引き続き、水位の閲覧状況を把握し、地下街管理者との意見交換などを進め、効果検証を行っていきます。また、新たに横浜駅東口の2か所のマンホールに水位計を設置し、令和5年5月31日に運用開始しました。</p>
②	<p>東急東横線廃線跡地</p> <p>令和元年7月に供用開始した桜木町駅西口広場付近から紅葉坂交差点までの区間については、各種イベントの開催など活用を行っています。引き続き紅葉坂交差点付近から横浜駅方面の整備に向けた検討を行っていきます。 現在、東横跡地全体の基本計画の再検討を行うとともに、令和5年度も、引き続き基本計画の再検討及び構造物の撤去を進めています。 構造物の状況調査により撤去が必要と判断した「浅山橋交差点～高島町交差点付近」の構造物について、令和3年度から撤去工事を行っています。</p>
③	<p>旧横浜税関西戸部寮公園整備 (公園面積 約1,500㎡)</p> <p>環境創造局が国家公務員宿舎跡地を取得し、街区公園として整備を行います。 令和5年度は基盤整備工事を行っており、公園施設の工事も続けて行います。令和6年度中の供用開始を予定しています。</p>
④	<p>旧野毛山寮公園整備 (公園面積 約1,700㎡)</p> <p>当該地は、一本松まちづくり協議会のエリア及び地震火災対策計画における重点対策地域に含まれ、平成21年度に地域から市長あてに公園整備の要望書が提出されています。都市整備局が国家公務員宿舎跡地を取得し、防災に資する街区公園の整備、取付道路の整備等を行います。令和5年度は、引き続き擁壁の補強や公園施設などの工事を行い、令和5年度末の供用開始を予定しています。 名称：西戸部羽沢西部公園 (供用開始後の正式名称) 施設：防災パーゴラ、防災トイレ (いずれも発災時にテントを設置) 等を配置</p>
⑤	<p>野毛山公園大池前広場再整備 (広場面積 約750㎡)</p> <p>野毛山動物園リニューアルの先行整備として、野毛山動物園の大池前にある広場を、より休憩しやすい広場へと再整備します。 1月から工事を開始し、供用開始は4月を予定しています。</p>
⑥	<p>野毛山公園プール跡地公園整備 (土地面積 約6,200㎡)</p> <p>プールは老朽化のため平成21年に解体され、跡地利用の検討・調整を行っていましたが、隣接する野毛山公園の拡張部として整備を行うことが決定しました。引き続き、周辺のまちづくりの動向をふまえて検討を行います。</p>
⑦	<p>多機能型拠点整備 (旧青少年交流センター跡地)</p> <p>西区老松町の旧青少年交流センター跡地を市内5館目の多機能型拠点整備用地とし、運営法人の公募を実施していきます。</p>

【参考】西区における開発動向等(西区開発動向分布図)



【参考】西区における開発動向等（横浜駅周辺地区）

横浜駅西口

①中央西口駅前広場については、JR横浜タワー前の屋根を令和3年6月に、高島屋前屋根を令和5年1月に供用開始し、中央西口駅前広場における屋根整備は完了しました。引き続き舗装等の駅前広場整備を進めます。

②きた西口駅前広場については、屋根工事をしていますが地中支障物の影響で工事が遅れており、屋根の完成は令和6年度になる予定です。

横浜駅東口

横浜中央郵便局及びその周辺地区における民間開発の事業化に向けて、ステーションオアシス協議会(日本郵政(株)、東日本旅客鉄道(株)、京浜急行電鉄(株)、横浜市)で検討を進めており、地盤改良や近接する鉄道への対策工事等による事業費への影響が大きいため、地下の掘削部分を縮小するなど事業採算性のある事業計画の検討を行っています。さらに、関連する基盤施設整備として、民間開発と連携した駅前広場やデッキ等の計画について検討を行っています。

①	中央西口駅前広場 令和元(2019)年7月～ 令和3(2021)年6月 JR横浜タワー前の屋根全体が供用開始 令和5(2023)年1月 横浜高島屋前の屋根完成 引き続き駅前広場の舗装整備等を行っていく予定
②	きた西口駅前広場 令和元(2019)年7月～ 令和3(2021)年4月 エレベーター供用開始 令和6(2024)年度 屋根完成予定 屋根完成後、順次、高欄や植栽、舗装整備等の広場整備を行っていく予定
③	横浜駅きた西口鶴屋地区（再開発ビル） 事業者：横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発組合 階数・高さ：地上43階/地下2階、約178m 用途：住宅、ホテル、商業施設等 平成29(2017)年度 再開発組合設立 令和元(2019)年度 建築工事着工 令和5(2023)年度 竣工(予定)
④	内海川(うつみがわ)跨線人道橋撤去 平成30(2018)年～令和6(2024)年予定 令和4(2022)年度 鉄道架線支持替や主要な構造部の撤去工事着手 令和5(2023)年度 鋼材や基礎などの撤去工事やPCB処分を実施予定 令和6(2024)年度 鋼材の撤去や信号設備支障移転、作業ヤード復旧工事等を実施し撤去事業完了予定



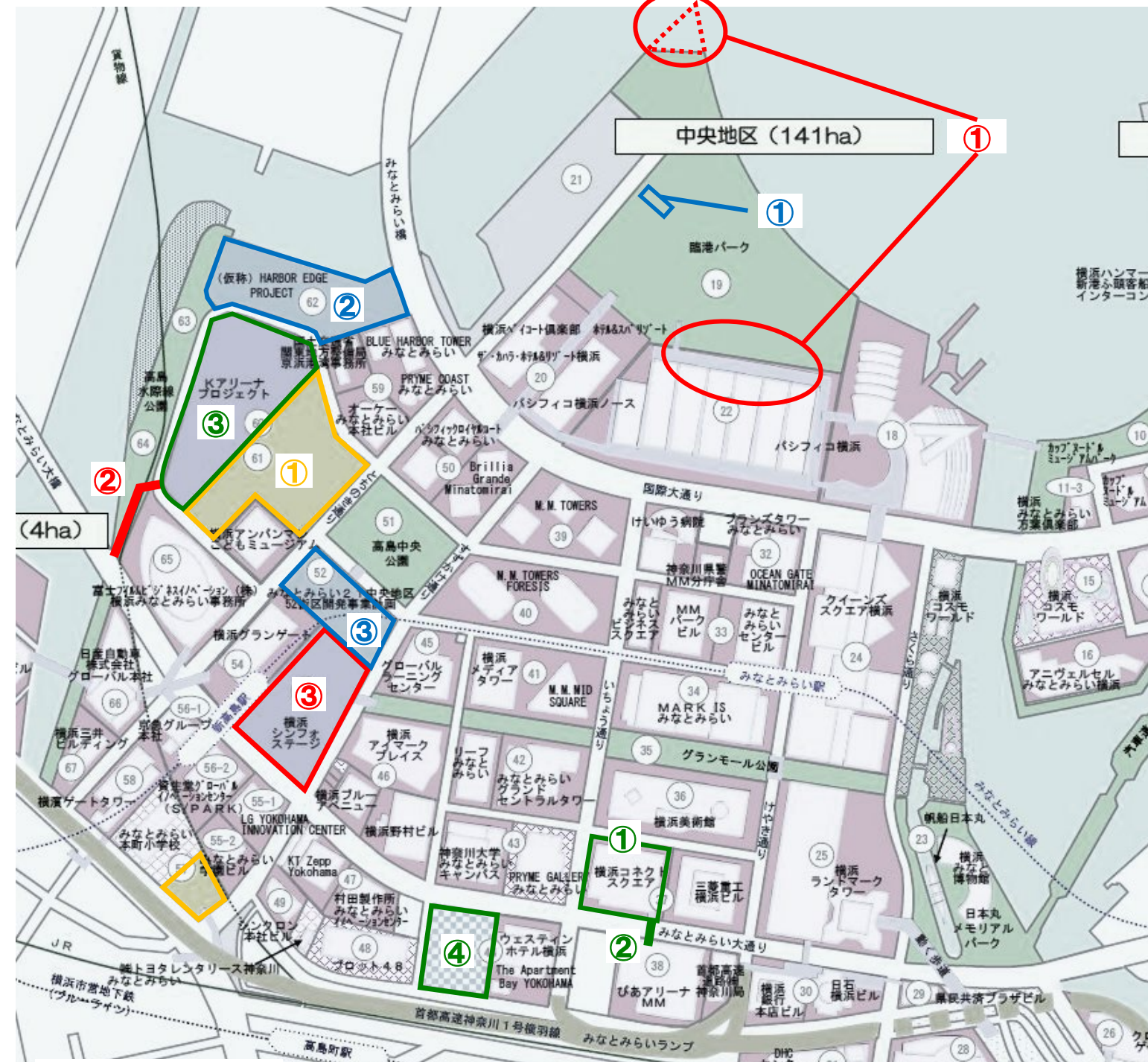
【全体スケジュール】

令和元(2019)年7月 ①②中央西口・きた西口駅前広場の整備工事着手
 令和元(2019)年10月 ③横浜駅きた西口鶴屋地区再開発工事着手
 令和元(2019)年12月 西口地下街中央通路接続事業(馬の背解消)新設通路開通
 令和2(2020)年3月 JR横浜タワー、JR横浜鶴屋町ビル竣工
 令和2(2020)年7月 ①中央西口駅前広場 JR横浜タワーアトリウム前屋根工事完了
 令和2(2020)年8月 ①中央西口駅前広場 横浜モアーズ前屋根工事着手
 JR横浜駅改札内通路整備完了
 令和2(2020)年12月 BAYSIDE BLUE 待合室整備完了

令和3(2021)年6月 ①中央西口駅前広場 横浜モアーズ前屋根工事完了→JR横浜タワー前屋根供用開始
 令和3(2021)年10月 ②きた西口駅前広場 屋根工事着手
 令和4(2022)年1月 ①中央西口駅前広場 横浜高島屋前屋根工事着手
 令和5(2023)年1月 ①中央西口駅前広場 横浜高島屋前屋根完成→中央西口駅前広場屋根全面供用開始
 令和5(2023)年度 ②きた西口駅前広場 屋根完成(予定)
 令和5(2023)年度 ③横浜駅きた西口鶴屋地区の竣工(予定)
 令和6(2024)年度 ②きた西口駅前広場 屋根完成(予定)
 令和6(2024)年度 ④内海川跨線人道橋撤去工事完了(予定)

【参考】西区における開発動向等（みなとみらい21地区）

<p>赤① 19の一部：臨港パークの整備</p> <p>【先端部等の整備】 事業主体：港湾局 規模等：約1.5ha 施設：接続デッキ（パシフィコ横浜） 緑地、護岸、 藻場・浅場（人工海浜・岩場）等 竣工：令和7（2025）年度予定</p>	<p>赤② 60・61の一部-みなとみらい大通り： （仮称）高島水際線デッキ整備</p> <p>事業主体：都市整備局 規模等：幅員6.0m、橋長約130m 着工：令和3（2021）年10月 竣工：令和6（2024）年度予定</p>
<p>赤③ 53：横浜シンフォステージ（YOKOHAMA SYMPHOSTAGE）</p> <p style="text-align: right;">企業促進</p> <p>事業主体：（仮称）みなとみらい21中央地区53街区 開発事業者共同企業体 ※構成企業：株式会社大林組（代表）、 ヤマハ株式会社、京浜急行電鉄株式会社、 日鉄興和不動産株式会社、みなとみらい 53EAST合同会社 規模等/高さ：地上30階/約160m 敷地/延床面積：約20,600㎡/約183,000㎡ 施設：オフィス、店舗、オープンイノー ベーションスペース、ホテル等 竣工：令和6（2024）年3月予定</p>	
<p>青① 19の一部：臨港パークの整備</p> <p>【カフェ・レクリエーション施設の整備】 事業主体：（代表企業） 株式会社ドラフト （構成企業） 株式会社伊佐建設 スプリングハズカム合同会社 規模等：地上3階 建築面積：約600㎡ 施設：カフェ、ランニングステーション、 レストラン等 着工：令和6（2024）年春 予定</p>	<p>青② 62：（仮称）HARBOR EDGE PROJECT</p> <p>事業主体：ベルジャヤ横浜ホスピタリティ アセット特定目的会社 規模等/高さ：地上14階、地下2階/約60m 敷地/延床面積：約22,000㎡/約91,800㎡ 施設：ホテル&ホテルコンドミニウム、 水族館、店舗等 竣工：令和8（2026）年9月予定</p>
<p>青③ 52：みなとみらい21中央地区52街区開発事業計画</p> <p>事業主体：DKみなとみらい52街区特定目的 会社 株式会社光優 規模等/高さ：地上29階、地下2階/約180m 敷地/延床面積：約11,800㎡/約115,000㎡ 施設：オフィス、オープンイノベーション スペース、ゲームアートミュージ アム、店舗 竣工：令和9（2027）年5月予定</p>	
<p>黄① 60・61：事業予定者公募中</p> <p>敷地面積：約23,100㎡ 処分方法：土地売却または定期借地 登録受付：令和5（2023）年4月17日～10月2日 提案受付：登録完了後～令和5（2023）年10月16日 事業予定者決定：令和6（2024）年2月予定</p>	



赤色：建設中
青色：計画中
黄色：市有地（未利用）
緑色：竣工

- 緑① 横浜コネクスクエア 令和5年1月竣工
- 緑② みなとみらい大通り2号歩道橋（37-38街区間デッキ）令和5年1月供用開始
- 緑③ Kアリーナプロジェクト（ミュージックテラス） 令和5（2023）年7月竣工
 - ・Kアリーナ横浜（音楽アリーナ/収容人数約2万人） 令和5（2023）年9月29日開業
 - ・ヒルトン横浜（ホテル） 令和5年9月24日開業
- 緑④ LIVINGTOWN みなとみらい 令和5年9月竣工

企業促進 …企業立地促進条例の事業計画認定済